

二天門

二天門は、家光の墓所へと至る参道を守護する二番目の門であり、日光山内最大の門です。守護しているのは、(東西南北の)四方を守る四天王のうちの二王です。左側にいる緑の肌の像は、東方の守護神であり、国土の守護神でもある持国天。右側の赤い肌の像は、広い視野が全ての悪を見抜く西方の守護神・広目天です。門の反対側に安置されているのは、雷と風を司るとされる雷神と風神の像。これら(風神雷神像)はそもそも別の場所に安置されていたのですが、十九世紀後半にここに移されました"大猷院"という文字が門の上の扁額に書かれており、これは百八代天皇の後水尾天皇(1596-1680)によって書かれたものです。